

を崩された方もなく、いつも通りご来園頂いていることに、担当一同うれしく感じております。

さて、風は未だ冷たいものの、日脚が伸びたことで、暖かく感じられる日も少しずつ増えてまいりました。そのような季節を感じられるよう、外気浴や散歩をご提案する機会も増えました。また、今年は日々の体操のレクリエーションに加え、しりとりや文字の並び替えなど、知的ゲームの提供にも取り組んでおります。

美山居宅支援センター

令和2年12月～令和3年2月迄のケアプラン作成数をご報告します。

12月
56件
1月
57件
2月
58件

年度末のこの時期、当施設（センター）の運営方針の中にある「三つの修養」について、今一度振り返っておきたく、ご紹介させていただきます。

(1) 正しく見極める英知

認定調査などを行なう場面があります。

ある一定の法則に則り、また、マナーを遵守しつつ行ないますが、その法則の解釈やマナーの経験値によつては、その状態像の事実把握を間違えてし

(3) 変えることのできる勇気

受容ができるたら、次は意識の変革が実践できるかどうか。まさにケアプラン変更のタイミングです。

除草剤の散布によつて両足のしび

まうリスクがあります。

96歳になる男性が『今の自分の状態は悪くないと思うよ。これからも思つて長女宅へ住まいを替え、長女

れを訴えた92歳の女性は、自宅から離れば良くなるのではないかと思つて長女宅へ住まいを替え、長女

1月 正月遊び
手作りおやつ（ケーク）
誕生日会（2名）

2月 手工芸（ひな人形作り）
誕生日会（1名）

コロナ禍のなか、美山通所介護サービスセンターでは、来所されるご利用者様が安心して過ごしていただけます。

(2) 受け入れることのできる豊かな心

私達は日常業務で、ありのままの事実に対して私見を介入させず客観的に把握し、受け入れる場面が多くあります。この時、私達はこの個別性（個人情報）に対して少なからず精神的な葛藤を覚え、自己コントロールを余儀なくされます。

排尿（トイレへ行く）回数が多くなるから心不全予防の利尿剤を飲まないという、基礎疾患に関節リウマチを持つ94歳の男性に、「気持ち、わかるよ。困つてるよね、一緒に考えながら行こうよ」と人格の尊重ケアを提供した男性薬剤師とのトツテモ素敵な出会いがありました。慢性疾患の悪化とそれに伴う暮らしにくさの両方を受容する困難さは日常的にあります。

美山通所介護サービスセンター

活動報告状況

月	2月	1月	12月
延利用人数	210人	217人	255人
延日数	20日	20日	21日
1日平均人數	10.5人	10.9人	12.1人
事業対象者	4人	4人	4人
要支援1	5人	4人	4人
要支援2	40人	42人	44人
要介護1	65人	68人	93人
要介護2	63人	65人	71人
要介護3	20人	22人	16人
要介護4	7人	8人	10人
要介護5	6人	4人	13人

12月から2月までの主な活動状況

- ①送迎時や来所時の検温の実施。
- ②来所時の手洗いの徹底や3回以上のお手指消毒の実施。
- ③送迎車内の消毒や送迎時のマスクの着用。
- ④ご利用されたテーブルなどの消毒。
- ⑤フロア内の換気の実施

その他、ご利用者様にはご不便をおかけいたしますが、ご利用中においても可能な限りマスクの着用をお願いしております。

また、レクリエーション活動では、気候の良い日はベランダにて三浦半島の山々や遠くは富士山を眺めながら、歩行訓練を実施したり、ご利用者様の希望に応じた個別レクや創作レク、ゲームレクなどを充実させ、ご利用者様に有意義な時間を過ごしていただいております。

12月 クリスマス会

手作りおやつ（ケーク）

誕生日会（2名）